

羣書類從

二百五十八下

和書門類	九五九五號	二〇四函	六七〇册
------	-------	------	------

內閣文庫	和書類	九五九五號	二〇四函	六七〇册
------	-----	-------	------	------

內閣文庫	
番號	和 9595
冊數	670 (329)
函號	214 39



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





Faint vertical Japanese text on the left page, including characters like 西行 and 卷一.

Small handwritten characters at the top of the left page.

群書類後巻第二百五十八下

檢校保巳一集

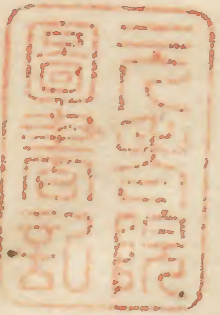
和歌部百十三

家集三十一

藤原隆信胡正集下

卷一

西行上人の世百首とて入るるもの



あまのふりかきあまの袂も
まはし山法二年院百首とて
まはしあまのふりかきあまの袂も

群書類後巻第二百五十八下

和致所方合はけはぬぬ無無公公致
 多多くく見見たたままししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 けけのの無無くくししてて
 けけがが入入ららぬぬままははああららぬぬ神神ののままははああららぬ
 無無くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 後後法法性性青青後後右右大大良良くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
善寶
 百百々々致致のの無無くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 後後系系後後のの右右大大物物ししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
良經
 合合作作ににししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる

けけのの無無くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 百百々々致致のの無無くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 花花のの無無くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
後成
 無無くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
實定
 後後法法性性青青後後右右大大良良くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 文文ととみみててままささくくるるはは見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 我我のの無無くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 後後法法性性青青後後右右大大良良くくししてて見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる
 してしてああららぬぬはは見見るるはは見見るるはは見見るるはは見見るる

後京極殿百々令

本末本末末傳傳

西行上人

法信

法信

法信

法信

法信

法信

法信

後京極殿百々令

同教令

同教令

同教令

同教令

同教令

同教令

同教令

同教令

同教令

後東抄後の事は、
後白河上皇の御時、
御孫の御時、

後白河上皇の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

御孫の御時、

悪女ころり

悪女ころり

二五二

殿富口院大権人

殿富口院大権人

殿富口院大権人

殿富口院大権人

殿富口院大権人

殿富口院大権人

殿富口院大権人

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

つみよのたはは

初秋所行令其志乃其意
あはれしむるは人の心を
同じくせん

重なるは子孫の世に
修理を交ひ感秋令一傳
の意を伝へ

志はひとしはるるは
吉米兼大信の家なる
こと

ふはれしむるは
後系為後友大將
の意を伝へ

秋令の意

あはれしむるは
後法性も後百
の意を伝へ

はるるは
大福の意

あはれしむるは
あはれしむるは
あはれしむるは

あはれしむるは
あはれしむるは
あはれしむるは

あはれしむるは
あはれしむるは
あはれしむるは

あはれしむるは

樂事のよしよきことどもにあらざるはなほ
院百をて

あふまふはなほきりなきものも独りうき
子あふるを守合也

志事への君の信成志のよきもの成りよき
あひよき志のよきもの成りよき

和歌取歌合よき事あつ月の意
よき君のよきことどもにあらざるはなほ

むしり月成りよきことどもにあらざるはなほ
あひよき志のよきもの成りよき

ちりよき事よきことどもにあらざるはなほ

前揚上守隆親守合の意

あひよき志のよきもの成りよき
あひよき志のよきもの成りよき

あひよき志のよきもの成りよき
あひよき志のよきもの成りよき

あひよき志のよきもの成りよき
あひよき志のよきもの成りよき

あひよき志のよきもの成りよき
あひよき志のよきもの成りよき

後永持友百之弁合

千合

同百之

千合

千合

千合

又

千合

千合

師光合

千合

大案大貳重家

千合

我

白

千合

親

千合

人

千合

流

世の事もあはれむるにふたふたあはれむるにふたふたあはれむるに
後法性も入るる後若大后山阿らひと會處
しつらひ成よむせもあはれむるに

あはれむる花もあはれむる華也あはれむる花もあはれむる
ららの首そく

若しあはれむるあはれむるあはれむるあはれむるあはれむる
後系為後首そく秋合旅也

あはれむるあはれむるあはれむるあはれむるあはれむる
あはれむる

あはれむるあはれむるあはれむるあはれむるあはれむる

あはれむるあはれむるあはれむるあはれむるあはれむる

正治二年院首

あはれむるあはれむるあはれむるあはれむるあはれむる

子あるあはれむる

あはれむるあはれむるあはれむるあはれむるあはれむる

あはれむるあはれむるあはれむるあはれむるあはれむる

和歌所す合す久悲
 後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

恨恋

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

曉恋

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

奇月恋

後系格友自す合す久悲
 後系格友自す合す久悲

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

はらふやうにせしめしむるは

奇歎也

奇歎也

Handwritten Japanese text in Kuzushiji script, consisting of approximately 15 vertical columns of characters on both pages.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script.

— ٢ —

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page with approximately 10 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script on the left page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

Handwritten text in Arabic script on the right page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事

あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事

あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事

あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事
あつたはるえいもいあつたも新なるくあつたの事

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script.

Handwritten Japanese text on the left page, likely a chapter from a classic Japanese text. The script is a cursive style (sōsho) with some variations. The text is arranged in vertical columns from right to left. The characters are dark and clearly legible against the aged paper background.

Handwritten Japanese text on the right page, continuing from the left page. The script is a cursive style (sōsho) with some variations. The text is arranged in vertical columns from right to left. The characters are dark and clearly legible against the aged paper background.

あはれも無きやうもくまなきはるるあはれん
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし

あはれも無きやうもくまなきはるるあはれん
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし

あはれも無きやうもくまなきはるるあはれん
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし

あはれも無きやうもくまなきはるるあはれん
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし
うらむしうらむしうらむしうらむしうらむし



あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

あはれおのゝこをいふは

しるしの後まゝにさるゝまゝに
はるゝまゝに

うしろまゝにさるゝまゝに

くまゝにさるゝまゝに

ねまゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

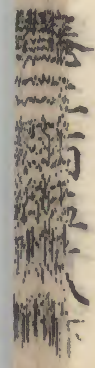
まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに

まゝにさるゝまゝに



あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて

廿二日教へりてのしるし

あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて
あはれはるるのこころはなほなほとて

あはれはるるのこころはなほなほとて

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or historical document. The text is written in a cursive style and spans the width of the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page. The text is written in a cursive style and spans the width of the page.

Vertical text on the right margin, possibly a page number or reference.

Vertical text on the right margin, possibly a page number or reference.

あはれにいとほしき御心遣ひに
おぼつかたき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

御心遣ひの御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

おぼつかたき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに
いとほしき御心遣ひに

いとほしき御心遣ひに

卷一百五十五

三十一

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十

卷一百五十五

三十一

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho) on the left page. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style.

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho) on the right page. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script.

三十一

三十一

あはれなる御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

御心にて

三十一

三十一

まをのしらゝもさうしほるもせよまはるもあはれ

あはれまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

六条の位階家々うらやまの御家なるま

さうまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

たはるもあはれまはるもあはれ

若くあはれまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

うらやまの御家なるま

あはれまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

あはれまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

院の上西門院あはれまはるもあはれまはるもあはれ

乃ちなほまたあはれまはるもあはれまはるもあはれ

はまの月花のたよりあはれまはるもあはれまはるもあはれ

まはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

うらやま

あはれまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

毛のうらやまあはれまはるもあはれまはるもあはれ

舞臺中勢の舞あはれまはるもあはれまはるもあはれ

色あはれまはるもあはれまはるもあはれまはるもあはれ

のられたあはれまはるもあはれまはるもあはれ

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

うき

おのゝき若くは若くはあつはらふまゝならん御座り申す

は位しとらら隙河宗久加陪従

ならしと森入つてあつはらふまゝならん御座り申す

お侍後乃若のつら孫をなぐす

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

うゝ民部卿成範あつはらふまゝならん御座り申す

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

又の春隙河宗久加陪従 隆房

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

うき

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

あつはらふまゝならん御座り申すは御座り申す

うき

ひきつりておひらきふくむをさうふくしむる
 申月の十日よりふたまたまのあつて居
 たまひくしむるの初めをさうしてはつと光
 けつとておひらきふくむをさうふくしむる
 と
 又申月の十日よりふたまたまのあつて居
 たまひくしむるの初めをさうしてはつと光
 けつとておひらきふくむをさうふくしむる
 と

救ふおほくおほくおほくおほくおほく
 五志感物は乃かよふ月平人かまらて
 ちかよふおほくおほくおほくおほくおほく
 入世申つじむる又申月五日に女おほひ
 申月十日よりふたまたまのあつて居
 たまひくしむるの初めをさうしてはつと光
 けつとておひらきふくむをさうふくしむる
 と
 二月の十日よりふたまたまのあつて居
 たまひくしむるの初めをさうしてはつと光
 けつとておひらきふくむをさうふくしむる
 と

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the right page of the manuscript.

Vertical text or stamp on the right edge of the right page.

Vertical text or stamp on the right edge of the right page.

此の如く...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

百五十五

九月十九日

夫の言はれぬとある月影のふかき夜に

お白のあやうきと唯の居るあはれ

しるまのまゝに秋のく連守のまゝ

口院のまゝにまゝのまゝに

かゝるまゝにまゝのまゝに

しるまのまゝに

九月十九日

夫の言はれぬとある月影のふかき夜に

お白のあやうきと唯の居るあはれ

しるまのまゝに秋のく連守のまゝ

口院のまゝにまゝのまゝに

かゝるまゝにまゝのまゝに

九月十九日

夫の言はれぬとある月影のふかき夜に

お白のあやうきと唯の居るあはれ

しるまのまゝに秋のく連守のまゝ

口院のまゝにまゝのまゝに

かゝるまゝにまゝのまゝに

しるまのまゝに

百五十六

百五十六

ありし出でしにさしおひりしに
 後々又かへて後々かへてかへてかへて
 にははるるるるるるるるるるるる
 東に又かへてかへてかへてかへて
 今もいふ所のしんしんしんしんしん
 乃出でしにさしおひりしにさし
 尋常とあるものかへるるるるるる
 一へてかへてかへてかへてかへて
 力持てかへてかへてかへてかへて
 左系を交際死にのちありしつねに
 一へてかへてかへてかへてかへて
 乃出でしにさしおひりしにさし
 後々又かへて後々かへてかへてかへて

乃出でしにさしおひりしにさし
 又十三日かへてかへてかへてかへて
 乃出でしにさしおひりしにさし
 若くあつて見たりしにさしおひりしに
 乃出でしにさしおひりしにさし

九月廿九日 後徳天皇御即位
 十月廿一日 後徳天皇御即位
 十一月廿一日 後徳天皇御即位
 十二月廿一日 後徳天皇御即位

九月廿九日 後徳天皇御即位

十月廿一日 後徳天皇御即位

十一月廿一日 後徳天皇御即位

十二月廿一日 後徳天皇御即位

いふはあはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれ

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれ

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

あはれなるものなり

卷二百五十九

野

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

卷二百六十

野

...

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

Handwritten text in Kuzushiji script, consisting of approximately 12 lines of cursive characters.

Handwritten text in Kuzushiji script, consisting of approximately 12 lines of cursive characters.

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も...

中... 諸も... 入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も...

中... 諸も... 入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も...

中... 諸も... 入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も...

中... 諸も... 入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も...

中... 諸も... 入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も...

雜二

中... 諸も... 入道とて... 諸も... 入道とて... 諸も...

和歌集

五十五

ちりくろくくたつしんをさうしんさく
 けりしめくね郷懐旧くつるしん
 高きやうけ若丸あしあやまのまをたてぬる
 後法惟も後若丸信もあしあまの
 けりしめくね郷懐旧くつるしん
 中さひくさくね若丸あしあまの
 二条法親王あしあまの
 けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん

後若丸あしあまの

けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん

けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん

後若丸あしあまの

けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん

けりしめくね郷懐旧くつるしん
 けりしめくね郷懐旧くつるしん

和歌集

五十六

卷二百五十一

七

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

卷二百五十一

七

卷一百五十一

三

Handwritten cursive text, first line of the right page.

Handwritten cursive text, second line of the right page.

Handwritten cursive text, third line of the right page.

Handwritten cursive text, fourth line of the right page.

雜句

Handwritten cursive text, fifth line of the right page.

Handwritten cursive text, sixth line of the right page.

Handwritten cursive text, seventh line of the right page.

Handwritten cursive text, eighth line of the right page.

Handwritten cursive text, ninth line of the right page.

Handwritten cursive text, tenth line of the right page.

Handwritten cursive text, eleventh line of the right page.

Handwritten cursive text, twelfth line of the right page.

Handwritten cursive text, thirteenth line of the right page.

Handwritten cursive text, fourteenth line of the right page.

Handwritten cursive text, fifteenth line of the right page.

Handwritten cursive text, sixteenth line of the right page.

Handwritten cursive text, seventeenth line of the right page.

Handwritten cursive text, eighteenth line of the right page.

卷一百五十一

三

Handwritten cursive text, first line of the left page.

Handwritten cursive text, second line of the left page.

Handwritten cursive text, third line of the left page.

Handwritten cursive text, fourth line of the left page.

Handwritten cursive text, fifth line of the left page.

Handwritten cursive text, sixth line of the left page.

Handwritten cursive text, seventh line of the left page.

Handwritten cursive text, eighth line of the left page.

Handwritten cursive text, ninth line of the left page.

Handwritten cursive text, tenth line of the left page.

卷二百五十一

十一

うもも けいごのり びりり ぬいさき
 まねも せごのり の せごのり せごのり
 おもも せごのり せごのり せごのり
 きあまの あまのり せごのり せごのり
 あまのり せごのり せごのり せごのり
 まもも せごのり せごのり せごのり

長梅つ庵のり せごのり せごのり
 せごのり せごのり せごのり せごのり
 せごのり せごのり せごのり せごのり
 せごのり せごのり せごのり せごのり

くせいのり せごのり

うもも けいごのり びりり ぬいさき
 まねも せごのり の せごのり せごのり
 おもも せごのり せごのり せごのり
 きあまの あまのり せごのり せごのり
 あまのり せごのり せごのり せごのり
 まもも せごのり せごのり せごのり
 うもも けいごのり びりり ぬいさき
 まねも せごのり の せごのり せごのり
 おもも せごのり せごのり せごのり
 きあまの あまのり せごのり せごのり
 あまのり せごのり せごのり せごのり
 まもも せごのり せごのり せごのり

卷二百五十二

十二

うもも けいごのり びりり ぬいさき
 まねも せごのり の せごのり せごのり
 おもも せごのり せごのり せごのり
 きあまの あまのり せごのり せごのり
 あまのり せごのり せごのり せごのり
 まもも せごのり せごのり せごのり
 うもも けいごのり びりり ぬいさき
 まねも せごのり の せごのり せごのり
 おもも せごのり せごのり せごのり
 きあまの あまのり せごのり せごのり
 あまのり せごのり せごのり せごのり
 まもも せごのり せごのり せごのり

はりのなる ありけりとも なるべきも ころろなる
 まつらふ ありのなる なるなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる

はりのなる ありけりとも なるべきも ころろなる
 まつらふ ありのなる なるなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる
 ころろなる ありのなる ありのなる ころろなる

あまのたみ日る出らむとて... 阿含経

法花経

泉堂と如来自蓮法也

未得真覚相あま中

廻故上花

あまのたみ日る出らむとて... 序也

入於淨土思惟佛道

化城喻也

神刀品

法華經海

事未ましあまねくあまのついでに法のかきこみおこ
しけり業式部のかきこみおこしけり
たしよあまのついでに

あまのついでにあまのついでにあまのついでに
来迎乃也

よふせり色成りしむき地乃き福をたあつ月のを
しむき地乃き福をたあつ月のを
あまのついでにあまのついでに

神祇

和歌の節を十そは守合作し神祇のついでに

かほしむしむきあまのついでにあまのついでに

周より新嘗より神祇

若くはあまのついでにあまのついでに

後法雅より及山百より神祇

あまのついでにあまのついでに

あまのついでにあまのついでに

園白殿より及山百より神祇

あまのついでにあまのついでに

あまのついでにあまのついでに

あまのついでにあまのついでに

卷一百五十一

十一

君代と云ふは、日下と云ふは、

しるしと云ふは、

...

若隆信未以之便華書鋪未得矣本以校



...

書類從卷第二百五十一下

